

# ふるさとふちゅう

【第22回】府中町で体験、四国お遍路（7）  
道隆寺（5）道隆寺炎上（7）

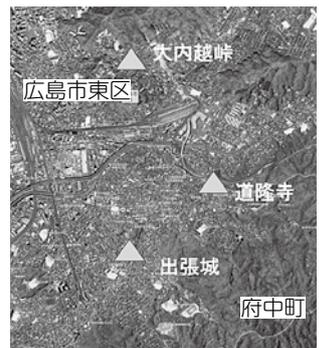
## 再発見

平安時代には広大な寺領を誇った道隆寺も戦国時代には戦乱で荒廃しました。『安芸府中町史第二巻』に「八箇国御時代分限帳」という史料が掲載されています。これは毛利氏が支配した安芸・周防・長門・備後・石見・出雲・隠岐・伯耆の八箇国の天正検地（天正年間に行った土地調査）による知行高をまとめたもので、この中に府中村にある寺社領が書かれています。江戸時代直前の府中村の社寺の実情といえます。これには吸江庵・正蔵寺・花蔵寺・安養寺と道隆寺が記されています。吸江庵は無住の尾首観音堂として小堂が残っていましたが数年前に解体されました。正蔵寺・花蔵寺・安養寺はわずかに地名として残っているだけで、道隆寺だけが中世以来連続と続いてきているのです。この史料で寺領の石高を見てみると、

最大は安養寺26石余り、花蔵寺26石足らずで道隆寺は7石8斗余りです。平安時代の広大さに比べ少ないのは道隆寺が戦禍に見舞われたからと考えられます。

戦国時代に府中村域を支配していたのは白井氏です。白井氏は安芸国の守護であった武田氏とともに関東から安芸に移ってきました。大永年間（1521年～1528年）に周防（現山口県）の大内氏が武田領へ侵攻を始める、当所の城主白井越中守は武田側に立ち、府中出張城も攻撃を受けます。白井氏は西側の守りとして道隆寺に陣を置き、抵抗しますが、最終的に火災により炎上します。これが何年のことかは書物によって異なります。大内氏の府中出張城攻めは平凡社『広島県の地名』では「天正年中（1573年～1592年）」。角川書店『広島県地名辞典』は

「大永2（1522）年、大永6年、大永7年5月、翌年享禄元（1528）年」。『芸藩通志』は「天文年間」。『芸州府中荘誌』は「天文元（1532）年・天文8年・天文10年」一説を紹介し、大内義隆軍が中山村から尾長村に通ずる峠に本陣を置き、攻め込んだと記しています。これが現在の大内越峠です。この戦いで道隆寺もほとんどの建物が焼失しますが、本尊の木造薬師如来坐像は難を逃れ、現在に至っています。白井越中守はこの戦いで自刃しました。



府中町文化財保護審議会委員 菅 信博

### 朝パッ君のかんたんレシピ

朝パッ君ネットワーク（健康推進課） ☎286-3257

## シャキシャキトースト

レシピ提供：ピッコロゴード保育園

**材料（4人分）**

- 食パン : 4枚
- サラダチキン : 1枚  
(ささみ2本でも)
- レタス : 2枚
- チーズ : お好みで

**作り方**

- 食パンの上にちぎったレタスをのせる。
- サラダチキン（ささみ：ささみに水をかけラップし、電子レンジで500W3分加熱する。様子を見て追加加熱）を①の上にほぐしながらのせる。
- ②の上にチーズをのせてトースターで2分程度焼く。

包丁やフライパンを使わないから忙しい朝にピッタリ!

ツナなどお家にあるいろんな食材でアレンジも♪

10月19日は食育の日！10月16日～22日は令和4年度「ひろしま食育ウィーク」